

健康で平和な

コミュニティ形成のために



正

掛川市長
戸塚進也

明けましておめでとうございます。いつも掛川市立総合病院をご愛顧くださいます。心より感謝申し上げます。

掛川市、大東町、大須賀町が合併して誕生した掛川市は、人口11万5千人、面積266平方キロ、緑茶生産は5800トンで日本一、街道文化と三つのお城の豊かな歴史を有し、工業出荷額においても県内屈指の商業都市であります。一方では南アルプスの南端の山々から、南は遠州灘まで、美しく豊かな自然が広がる、歴史あるまちです。これから

も健康で平和なコミュニティを形成し、夢・未来を創る都市に成長することが期待されます。

掛川市立総合病院としても、患者様中心の医療サービスの提供に努め、地域中核病院の使命に応えるとともに、健康安心サロンによる予防医学の充実にも一層努めて参ります。

昨年の掛川市

昨年は、国内では経済面で拡大局面を続け、いざなぎ景気をこえるものとなりました。しかし悲惨な事故やイジメによる子どもたちの自殺など、複雑な社会情勢を反映した事件や事故が相次ぎました。関係のみなさまには心よりお見舞い申し上げます。

今年こそは、国内外ともに明るい話題が多い、安心して生活できる社会にしたいものだと思います。

掛川市では、昨年はNHK大河ドラマ「功名が辻」一豊と千代の物語が放映され、これを記念した「千代と一豊・掛川館」は連日大盛況で、多くの皆様楽しんで頂きました。

本年の大河ドラマ「風林火山」も、掛川市の高天神城に縁があることから、急きょ開設期間を延長し、様々なイベントとあわせて、観光都市としてさらなる飛躍が期待されています。

患者様のニーズにあった医療を

一方、医療の面では、診療報酬の減額改定と、今や地方病院の宿命ともいえる医師不足問題など、病院の経営環境はより一層厳しい状況にあります。医師不足の療養環境の快適性や医療情報に対する患者様のニーズに的確に応えるべく、一層の医療内容の向上を目指し、さらなる患者様中心の医療充実と医師の確保が求められております。

設備面でも、医療機器の更新や充実につきまして、患者様のニーズにあった整備を進め、地域の中核病院の使命を果たして参ります。

また、かかりつけ医と病院の機能分担を図るため、昨年はじめた新しい救急体制とともに、開業医との病診連携を一層推進いたします。

特産の掛川茶の医療への効用について研究を進める「緑茶医療研究センター」の活動もさらに活発となります、ますます掛川には注目が集まるものと思われまます。

今後とも、より高度な医療と「愛365日」を合い言葉に病院五族のチームワークで、地域のみならずから全幅の信頼を寄せられるよう専心努力いたします。

ますますのご愛顧、ご支援をよろしくお願い申し上げます。